**論文執筆要領（和文,太字, 16ポイント,1行以内,中央揃え）**

**副題（和文,太字, 14ポイント,1行以内,中央揃え）**

**倫理 委員（MS明朝,太字, 12ポイント,右詰め）**

RINRI Iin（姓[全て大文字][半角ｽﾍﾟｰｽ]名[頭文字のみ大文字],12ポイント,右詰め）

和文アブストラクト（要旨、250字以内、サイズ10.5）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○標準の文字フォントは、和文：MS明朝体、ローマ字及び数字：Times New Roman,半角とする。○○数字は、数を表す場合はアラビア数字1,2,3を用いる（Times New Roman,半角）。○○○○○○○○○単語の一部になっている場合は漢数字を用いる。○○○○○○○句読点は全角の「、」「。」を用いる。フォント、太字、文字サイズ（ポイント）、行数制限、他、及び行中位置の指定がある場合は（ ）内に示す。

キーワード：（5語句程度、10.5ポイント）、○○○、○○○

**1.本文・図表写真（太字, 12ポイント）**

章の数字および直後の“.”は、MS明朝体-半角文字，24ポイントとする。

章のタイトルは上記の標準文字フォントとする。

本文は、10.5ポイント。○○○○○○○○○○○○○○○○○

本文以下は、1行22文字×41行×2段とする。○○○○○○○

本文の段落の書き出しは、全角１字下げする。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**2.節・項・亜項-1、図表写真**

**2.1 「節」（太字、11ポイント）**

節の数字およびタイトルは、標準のフォントで11ポイントとする。

節番号のZ(数字).Z の後は半角空ける。○○○○○○○○○○

(1)「項」（10.5ポイント）

項は半角( )付の番号（フォント：Century）をふる。(n)の後はスペースを空けない。

項の番号及びタイトルは、太字にすることができる。（全体の見栄え等により判断する。）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(2)「写真」・「図」及び「表」

図、表、写真を配置する推奨位置は、表は頁最上部、図と写真は頁最下部だが、対応する章・節・項の位置によってはこれにこだわらない。ただし、区切りや見栄えを考慮して配置すること。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

写真1. ○○○○（10.5ポイント,中央揃え）

（図、表、**写真**は、原稿内に取り込む）

小さなものは1段の中に取り込むが、  
大きなものは2段にまたがってもよい。

（写真のタイトルは、写真の直下に記す。番号直後の”.”の後、半角1文字空ける。）

図1. ○○○○（10.5ポイント,中央揃え）

（**図**、表、写真は、原稿内に取り込む）

小さなものは1段の中に取り込むが、

大きなものは2段にまたがってもよい。

（図のタイトルは、図の直下に記す。番号直後の”.”の後、半角1文字空ける。）

**2.2 表の記載方法**

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

表のタイトルは、表の直上に記す。番号直後の”.”の後、半角1文字空ける。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

表1. ○○○（10.5ポイント,中央揃え）

（図、表、写真は、原稿内に取り込む）

小さなものは1段の中に取り込むが、

大きなものは2段にまたがってもよい。

**2.3 亜項-2**

(1)○○○○○○○○○○

(a)○○○○○○

1)○○○○○○○○○

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

2)○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

(b)○○○○○○○○

(2)○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

項：(1)、(2)、・・・

下位の亜項：(a)、(b)、

更に下位の亜項：1)、2)、

a)、b)、

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**4.引用・参考文献**

引用文献と参考文献は区別せず、全て引用・参考文献とする。

引用・参考文献は、原則として発表公開されたもので、かつ、できる限り読者が入手可能なものを選択する。

引用する文献の著作権に適切に配慮すること。配慮の方法は引用・参考文献1)に詳しい1) 。

引用・参考文献は参考順に通し番号とし、本文の引用箇所に1),2)…のように上付き文字で記し、末尾に参考順にまとめて記載する。

末尾の引用・参考文献の記述方法を引用・参考文献欄に示す。なお、ここでの記載方法は引用・参考文献2)に準拠している。参考にすること2)。

**5.著者紹介**

著者紹介は最末尾に記す。

筆者が1名の場合の記入例を示す。2名以上の場合は間に線を入れずに重ね、第1筆者を上に記すことができる。代表筆者1名のみの記載としてもよい。

顔写真ありを標準とするが、無くても差し支えない。

引用・参考文献（明朝体、以下はサイズ9）

1. 日本機械学会論文集執筆要領,　<https://www.rs.tus.ac.jp/~ishi/onlylab/JSME_Manual_20100730.pdf>, 2010, 参照日：2019/10/1
2. 日本工学教育協会：「工学教育」和文原稿執筆要領, <https://www.jsee.or.jp/aboutjoj/kitei>, 2016, 参照日：2019/10/1
3. 科学次郎：「書名」pp. xx~yy,○○書店,2013
4. ○○○（ホームページなど出典）, アクセス日
5. ○○省：○○白書, 2014
6. 著者・筆者：記事タイトル, 雑誌名, CDROM, 2019

（著者顔写真）

添付

倫理 委員（りんり いいん）

技術士（○○部門）

所属先（勤務先）

連絡先（e-mailなど）

（明朝体、サイズ9）